

12. 用語組込シート

①「9. 用語選定シート」「10. 用語関連シート」「11. 用語探索シート」（作成していない場合は「2. 実例シート」）の中から重要語（句）を集め。用語リストを作成する。その他のシートから選んで付け足してもよい。							
用語リスト	A:	B:	C:	D	E:	F:	G:
	H:	I:					
②用語リストの中から重要だと感じられる3用語を選び、概念 O、P、Q とする。3用語を相互に組み込み文を作る。							
用語	O:		P:		Q:		
O P Q 文 セ ッ ト	O を主語とし、述部に P と Q（順不同）を含む文で、フェルトセンスを表現する。						
	↓ P と Q（順不同）を使って文を続ける。						
	③（O ）は、						
	P を主語とし、述部に Q と O（順不同）を含む文で、③と同内容を表現する。						
	↓ O と Q（順不同）を使って文を続ける。						
④（P ）は							
Q を主語とし、述部に O と P（順不同）を含む文で、③と同内容を表現する。							
↓ P と O（順不同）を使って文を続ける。							
⑤（Q ）は							
O P Q R 文 セ ッ ト	用語リストから1つ選び R とする。R を主語とし、述部に OPQ（順不同）を含む文で、フェルトセンスを表現する。						
	↓ O と P と Q（順不同）を使って文を続ける。						
	⑥（R ）は、						
	③の文をなるべく変えずに R を付加し、⑥と同内容を表現する。文法上必要な変更は可。複数の文に分割可。						
	↓ ③の述部に R を付加する。						
⑦（O ）は、							
④の文をなるべく変えずに R を付加し、⑥と同内容を表現する。文法上必要な変更は可。複数の文に分割可。							
↓ ④の述部に R を付加する。							
⑧（P ）は、							
⑤の文をなるべく変えずに R を付加し、⑥と同内容を表現する。文法上必要な変更は可。複数の文に分割可。							
↓ ⑤の述部に R を付加する。							
⑨（Q ）は、							
O P Q R S 文 セ ッ ト	用語リストから1つ選び S とする。S を主語とし、述部に OPQR（順不同）を含む文で、フェルトセンスを表現する。						
	↓ O、P、Q、R（順不同）を使って文を続ける。						
	⑩（S ）は、						
	⑦の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現する。文法上必要な変更は可。複数の文に分割可。						
	↓ ⑦の述部に S を付加する。						
⑪（O ）は、							
⑧の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現する。文法上必要な変更は可。複数の文に分割可。							
↓ ⑧の述部に S を付加する。							
⑫（P ）は、							
⑨の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現する。文法上必要な変更は可。複数の文に分割可。							
↓ ⑨の述部に S を付加する。							
⑬（Q ）は、							
⑥の文をなるべく変えずに S を付加し、⑩と同内容を表現する。文法上必要な変更は可。複数の文に分割可。							
↓ ⑥の述部に S を付加する。							
⑭（R ）は、							
⑮同様の手順で用語を追加していく。追加語は用語リストから選ぶ。用語の追加は、次の手順でおこなう。 手順1：追加用語を主語とし、述部に他の用語すべてを含む文で、フェルトセンスを表現する。 手順2：直前の文セットをなるべく変えずに追加用語を組み込む。文法上必要な変更は可。複数の文に分割してもよい。							
⑯ 加えたい用語がなくなったら終了する。用語数と同数の、同内容を表現する文セットができる。 最終段階の文セットで相互に関係づけられた「用語」を「概念」、「概念」の相互関係を「概念システム」と呼ぶ。							